

シルバー浜松

令和7年

9月

第127号

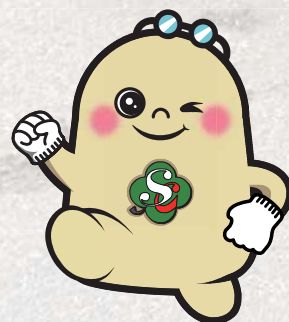
題字：夏目 雅代会員(浜名事務所)



学校用務員業務
P.4に関連記事掲載

目次

- 第72回定時総会開催・・・・・・・・・・・・ P.2
- 職場訪問・・・・・・・・・・・・ P.4
- 会員のひろば・・・・・・・・・・・・ P.5
- 会員の作品紹介・・・・・・・・・・・・ P.6
- 安全就業推進員から・・・・・・・・・・・・ P.7

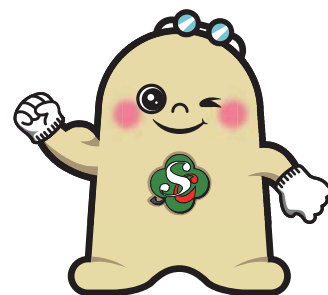


第72回定時総会開催

公益社団法人浜松市シルバー人材センター第72回定時総会が6月16日(月)、午後1時30分から浜松市福祉交流センター 4階「小ホール」にて開催されました。

書面評決書提出者を含む3,322名の出席(当日出席者50名、書面評決書提出者3,272名)により総会は成立し、「令和6年度事業報告」など3件の報告と「令和6年度決算報告」など3件の議案が審議、採択され、いずれも原案通り可決承認されました。

また、定時総会終了後に開催された理事会では、常務理事に松下文明理事が選任され、就任いたしました。

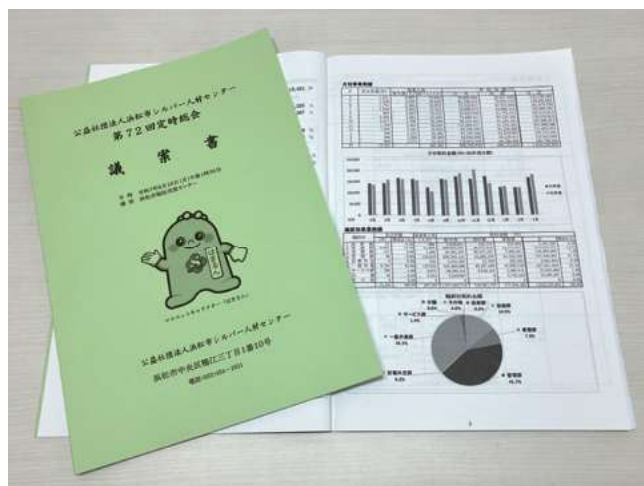


○定時総会 議事内容

- 報告第1号 令和6年度事業報告について
- 議案第1号 令和6年度決算報告について
監査報告
- 報告第2号 令和7年度事業計画について
- 報告第3号 令和7年度収支予算について
- 議案第2号 定款の変更について
- 議案第3号 理事1名の選任

○新任役員

常務理事兼事務局長 松下 文明



【新任あいさつ】

常務理事兼事務局長 松下 文明



会員の皆様方におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。
この度、6月16日付けで当センターの常務理事兼事務局長に就任いたしました
松下文明でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

浜松市の65歳以上の人口は、本年4月1日現在で226,281人、高齢化率は29.0%となり、この10年で、3.7ポイント上昇しました。人生100年時代と言われる昨今、就業を通じて高齢者の生きがいを支援するシルバー人材センターの役割はますます高まっています。

コロナ禍後、県内のほとんどのシルバー人材センターでは、会員数が減少しています。当センターにおいても、一時的に減少したものの、令和4年度から徐々に回復し、7年3月末時点で、平成30年度とほぼ同じ約4,500人の会員が在籍し、「5ヶ年計画」の目標値も上回っております。一方、女性会員の割合は40%をわずかに下回り、就業率も昨年度と同じ75.5%となり、ともに目標値に届きませんでした。

今後も引き続き会員増強を進めるとともに、重点事業の一つである新規女性会員の獲得のため「女性向け出張説明会」を継続するなどの取り組みを進めてまいります。

また、就業率を上げるため会員のニーズを把握し、未就業会員への就業促進や会員の適切な就業環境の整備を図るとともに、就業開拓等に積極的に取り組み、「就業機会の拡大」に努めてまいります。

これからも、会員・事務局が一体となって、地域の皆様から一層信頼されるシルバー人材センターづくりに取り組んでまいりますので、引き続き、会員の皆様のお力添えを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

【退任あいさつ】

前常務理事兼事務局長 大橋 臣夫

さて、私こと、去る6月16日の定時総会におきまして、常務理事及び事務局長を退任することとなりました。

2年という大変短い期間ではありましたが、会員の皆様をはじめ役員、職員の皆様方の一方ならぬご支援・ご協力のお陰で、無事、任務を遂行することができました。厚くお礼申し上げます。

この間、大変なこともありましたが、数多くの会員の皆様との出会い、また、これまでにない貴重な経験ができたことで、大変充実した2年間を過ごすことができました。この後は転職し、しばらく現役で働くことにいたしました。いずれ、当センターの会員になる日もやってくると思います。その節には、よろしくご指導賜りますよう、お願い申し上げます。

結びにあたりまして、浜松市シルバー人材センターのますますのご発展と会員の皆様のご健勝を祈念申し上げ、退任のあいさつといたします。

誠にありがとうございました。



学校の用務員の仕事を取材

浜松中央事務所の管轄内では、小学校、中学校、高校合わせて400人以上の会員が用務員として就業されています。その中で今回は、西部中学校で就業されている、高橋薫行会員、伊藤あい子会員のお二人に取材させていただきました。

【仕事の内容について】

	男 性	女 性
体制・シフト	3人体制(3日に1回就業) 7:45 ~ 16:30 1日8時間	2人体制(2日に1回就業) 9:00 ~ 14:45 1日5時間
主な仕事内容とスケジュール	【午前】 職員室のゴミ捨て 昇降口、階段のモップ掛け 男性用トイレの掃除 ・職員用のトイレを毎日実施 ・校庭、体育館、武道館トイレは月、木に実施 ※生徒用トイレは生徒が実施 給食の片づけ 【午後】 銀行等の外回り 草取り等	【午前】 給湯室、校長室、応接室の掃除 給湯室、校長室のタオル洗濯 女性用トイレの掃除 ・職員用のトイレを毎日実施 ・校庭、体育館、武道館トイレは月、木に実施 ※生徒用トイレは生徒が実施 給食の配膳 【午後】 草取り等

【仕事の大変なこと、やりがい】

高橋会員から

中学校では午後に部活動があるため、運動場周りの草刈りが出来ない時があり、作業調整が大変です。西部中は敷地が広く作業動線も長くなります。そのため午前の作業も含め、かなりの歩数となりますがそのことが健康状態を維持できる要因のひとつとなっています。草刈り、剪定を通じて敷地内が綺麗になることに、やりがいを感じています。

伊藤会員から

運動場の砂埃が窓の棧に溜まり掃除が大変ですが、生徒から「いつも綺麗にいただき、ありがとうございます。」と声を掛けてもらう事がうれしいです。用務員として就業する前は、特段体を動かしていなかった為、慣れるまでは大変でしたが、健康的に体重を10kg減量できたことはとてもよかったと思います。



～ 取材して ～

まさに梅雨入りとなった日に訪問させていただきました。新校舎が出来て、今はグラウンドの整備工事をしているタイミングでの取材となりました。お二人とも、二年前に新校舎となった西部中学校の校内環境の維持に尽力されており、清掃を通して綺麗になる事への、やりがい・情熱を持って就業されている事が、穏やかな口調の中にも非常に強く感じられました。

取材日：令和7年6月9日(月)

取材：会報編集委員 外波山、杉田、吉田

会員の ひろば

趣味紹介

～会員インタビュー～



天竜事務所 堀下 勝男会員

堀下会員は、平成29年にシルバー人材センターに入会し、8年目を迎えます。これまで施設管理や選挙事務、現在は除草作業で就業中です。今回は、小物づくりについてお話をうかがいました。

《はじめたきっかけは?》

シルバーの草刈り作業で「すすき」を刈って手にした時、枯れすすきは花の咲かない弱々しいイメージを持っていましたが、刈ったすすきが穂先までしっかりしていたのでビックリ。以来、高齢の方が小物づくりをしているのを思い出し、ほうきを作ってみようと思いました。

《今までどのような作品を作りましたか。》

また今、どのような作品を作っていますか?》

- ・ほうき(すすき)
- ・ブラシ、布団たたき(藤のツル)
- ・孫の手、杯、靴べら(竹)
- ・ハエたたき(シュロの木の葉)
- ・肩たたき(柳の木の根)
- ・置き物(鹿の角とクルミ)

今は孟宗竹で鬼おろし器(大根おろし器)を試作中です。

《小学校へのプレゼント》

地元の浦川小学校、昨年廃校になってしまいましたが、3年前全校で一斉に清掃活動をしている事を知り、小型の「すすきほうき」をプレゼントしました。すすきほうきは、軽くて一年生も使いやすいと好評でした。

《作品作りの魅力は?》

- ①地域の皆さんに気軽に使っていただき喜ばれる事
- ②山の中で暮らしているのも、周辺はいろいろな樹木があり、これらの材料を活用した作品を作る喜び
- ③健康管理を兼ねて材料を探しながら山歩き

《今後の活動について》

『老いて益々盛ん趣味多彩』いろいろな事に挑戦していきたいと思います。例えば「高齢者小物づくりグループ」で集い、皆で楽しく遊べたらいいなと思っています。



取材日：令和7年6月4日(水)

取材：会報編集委員 松井、河合

会員の作品紹介 テーマ「夏の思い出」

会報「シルバー浜松」第126号で会員の皆さんに「夏の思い出」をテーマとした作品募集を行いました。応募のあった素敵な作品を掲載いたします。

【エピソード】

— 青々とした大きな池で泳いで — 浜名事務所 山本 守男

私が20歳の頃、地元に着からある灌漑用の千頭ヶ池で泳いでみようと思った。谷間の静かなところで水は青く深さも相当あったがこの頃は恐怖心がなかった。

岸边から静かに足を入れ深みになる場所から平泳ぎを始めた。泳いで行くと池の水面に近い部分は温かく、50センチ位の深さでは急に水が冷たくなっている。この違いが不気味な感じだった。池の水は流れがないので太陽の光が当たる水面部分だけ温められるようだ。池の中央までゆっくり進んだ。そこから先は対岸に向かって速度を上げて泳いで行った。岸边に着くと足元が滑らないように慎重に地面に上がった。

堤防の上で体を拭いていると水面に波が立っているのが見える。何か動物が移動している。近づいて来たものをみると大きな蛇だった。自分が泳いだところを今は蛇が泳いでいる。その時からここで二度と泳ぐ気にならなくなった。海や川ならどんなところも平気だったが蛇がいる池は嫌である。

— 思い出の鹿島の花火大会 — 浜松中央事務所 鈴木 宏昌

私の夏の思い出は、幼稚園児から小学六年生までの九年間、家族で母の実家がある浜松市天竜区二俣へ行き、「鹿島の花火大会」を観たことです。当時の私たちにとって、自宅からバスと電車を取り継ぎ出掛ける事は珍しく、花火大会見物は家族にとって、最も楽しみな一大イベントでした。

会場の堤防沿いには観覧用敷席が設けられ、親戚一同が顔を合わせる年に一度の機会でした。その際、大人達が食事や話をしている間に私達は、出店を回り毎年大好きな、りんご飴を買っていた覚えがあります。

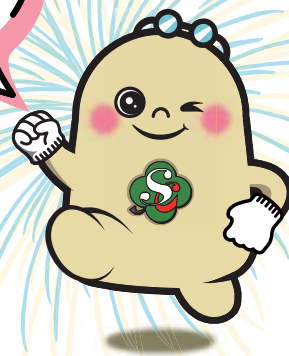
又、幼い私にとって山々にこだまする花火の炸裂音は、衝撃的で迫力満点でした。音が響く度に、豪快な花火にワクワクし興奮していました。その壮大な轟音の花火は、天竜の夜空を美しく彩る夏の風物詩でもありました。この伝統ある花火に歓喜し、感動した事は今でも脳裏に焼き付いています。

【己書】



浜松中央事務所 八巻 美弥子

素敵な作品のご応募
ありがとうございます！



今日も一日ご安全に!! 安全就業推進員

1.「上下刃逆回転挟み切り方式刈払機(無双)」の講習会を開催しました

去る5月29日、石飛び、キックバックを抑え安全に草刈りができる「上下刃逆回転挟み切り方式刈払機(無双)」の講習会が浜名区細江町の「奥浜名湖田園空間博物館倉庫周辺」を会場に開催されました。

参加者13名は、刈払機の構造と取扱いについて説明を受けた後、2班に分かれ、交互に山崎幸信会員による実技と深津浄会員によるメンテナンスの指導を受けました。

受講者からは、「石が飛びにくく安全性が確認できた」「この刈払機を早速使用してみたいので貸してほしい」との声が上がっていました。

また、機械刈り除草会員を対象に通常の刈払機の適切な扱い方を学ぶ講習会が、4月15日には浜名事務所、5月27日には天竜事務所でも開催されました。



4/15 刈払機講習会(浜名)



5/27 刈払機講習会(天竜)



5/29「上下刃逆回転挟み切り方式刈払機(無双)」講習会



上下刃逆回転挟み切り方式刈払機(無双)

2.虫刺されにご注意ください

夏から秋にかけては、ハチが活発に活動する時期です。当センターにおいても傷害事故のうち虫刺され事故が過去5年間に於いて2割以上を占めています。

その大半はハチによる刺傷です。ハチに刺されたらすぐにその場(巣の近く)を離れ、ハチの針が残っている場合は、そっと抜き、体内に取り込まれる毒液を少しでも少なくするよう傷口周囲を圧迫し毒をしばらく出したり、毒吸引器(ポイズンリムーバー)で毒を吸い出したりしてください。

そして、患部を水道水で洗い流し、濡れたタオルや保冷剤で冷やし、腫れや痛みがあるときは、抗ヒスタミン剤やステロイド軟膏を塗り

20分ほど様子を見て異常がないようならひとまず安心です。

しかし、息苦しさや口の渇き、冷や汗、めまいや吐き気、じんましんなどの「アナフィラキシーショック」症状が出た場合は、一刻も早く救急病院で医師の診断を受けましょう。



事務局だより

人事異動

令和7年 8月1日付

	新	氏名	旧
《異動》職員	天竜事務所主任	根木 万由実	浜名事務所(兼湖北支所)主任
職員	浜松中央事務所主事	藤原 紘美	天竜事務所主事
職員	浜名事務所主事	長沼 俊貴	浜松中央事務所主事
嘱託職員	浜名事務所(兼湖北支所)	植喜多 裕美	浜名事務所(介護)
嘱託職員	浜松中央事務所	栗林 由佳	湖北支所

冬の風物詩をテーマとした作品募集

会報「シルバー浜松」に掲載する作品を募集します。今回のテーマは「冬の風物詩」です。皆さんの心に残る冬の思い出や感じたことなどを表現した作品をお待ちしております。

●募集作品：テーマ「冬の風物詩」

写真、絵画、手芸、俳句、川柳、エピソード(400字以内)などテーマに沿った作品。

●作品応募先

下記宛先に郵送、または右記応募フォームから応募してください。

〒432-8023 浜松市中央区鴨江三丁目1番10号

浜松市シルバー人材センター「シルバー浜松」係

●応募締切日

令和7年10月3日(金)必着

作品が掲載された方には薄謝を進呈いたします。

※応募作品は返却いたしません。あらかじめご了承ください。



▲応募フォーム

会員の現状

令和7年8月1日現在

浜松中央事務所	2,728名
浜名事務所	1,079名
天竜事務所	457名
合 計	4,264名

編集後記

昨年度から浜松市シルバー人材センターは、Smile to Smileのアプリの導入により配分金の明細を今年の4月就業分からSmile to Smileで確認することとなりました。毎年1月に発行される支払い証明書の郵送も廃止されました。

世の中デジタル化が進み、QRコードを読み取り、色々な情報にアクセスすることが出来ます。特に、LINE、乗換案内、Yahoo、地図などのアプリは大変便利です。家族友人等の連絡は、はまラインで済ませることが多くなり、旅行に出かける際の乗換案内は、なくてはならないアプリです。

一方、デジタル活用が積極的に進められる中、情報格差が生まれることに懸念が生じます。

浜松市では9月から物価高騰対策として、プレミアム付きデジタル商品券が発行されます。一口5000円で販売され、20%のプレミアムがついているため、6000円分の買い物が出来ます。ただし、スマートフォンの決済アプリ上で行うため、スマホがないとこのような対策にもついていけません。

私自身、今後スマホを積極的に使い、楽しさや便利さを実感して、生活が豊かになればと願っています。

今回シルバー浜松127号は、デジタル配信となりましたが、会員の皆様のご意見を頂きながら、どのような発信がベストなのか考え、またデジタル配信でも進んで読んでいただけるような会報誌に出来たらいいなと思っています。

会報編集委員 杉田 宏枝



令和7年(2025年)9月

発行:

公益社団法人 浜松市シルバー人材センター
〒432-8023 浜松市中央区鴨江三丁目1-10

ホームページ

<https://hamamatu-sjc.com/>

スマートフォン等で読み込んでください。

